



▼学校統合問題
児童・生徒が減少していく中で、校区変更、統合・再編等を含め、児童生徒の健全な発達のために、条件整備を進めるため、委員会を設置し検討を始めます。

▼組織の改正
西有家庁舎の人権・男女共同参画室内に「市民相談センター」を開設します。本センターは弁護士事務所、警察署、人権相談員等との連携を図りながら、多重債務に関する相談、消費生活処理の相談、人権問題に関する相談、各種法律相談等、総合窓口的な役割を担うものです。
組織改正については、行政改革大綱および集中改革プランに基づき、総合計画の実施をはじめ更なる市政の推進を図るため、事業系部局を中心に本庁機能を7部4局29課室から7部4局33課室に再編します。

▼地球温暖化防止対策の取り組み
豊かな自然環境を大切に守り伝えて行くため、現在、「南島原市地球温暖化防止対策協議会」を組織し、具体的な行動計画のとりまとめを行っています。今後も「環境浄化地域づくり事業」

▼ごみ減量化の推進
南島原市の一般廃棄物処理については、19年度に統一した基本計画を作成しました。
この計画に基づき、環境型地域社会の形成を図るため、ごみ減量化対策として、「ゴミになるものを断る・減らす・再使用する・再生使用する」ごみ減量4R運動を推進します。特に市役所は率先して4R運動を実行します。

▼公共交通体系の整備
市内公共交通体系の整備は、「南島原市地域公共交通活性化・再生協議会(仮称)」を設置し、その中で地域公共交通総合連携計画の策定をはじめ、バス運行路線の維持・見直し、バスベイ、バス停の屋根等の整備促進を含め交通空白地域や利用者の利便性向上のため、福祉タクシーを含めた新たな交通システムの研究や検討を、市民の皆さまのご意見をお聞きしながら進めます。

20年度は、南島原市総合計画に定められた基本構想および基本計画を踏まえた将来像の実現に向けた諸施策を展開するための初年度という重要な年度であります。予算編成において、重点プロジェクト事業を実施する財源を捻出するために、マイナス10%のシーリングを設定しました。引き続き行政改革大綱、集中改革プランおよび財政健全化計画を着実に実施し、職員の叡智を結集して施策の重点化・効率化を推進します。

20年度予算の概要

▼特別職給与等の削減
私としては、この混迷の時代において、市民の皆さまだけが痛みを受けるのではなく、お互いが共に手を取り、市の将来のために何が必要で何ができるか真剣に考え、取り組んでもらいたいと考えております。その姿勢として、20年度から市長給与を10%カット、副市長および教育長の給与についても5%カットするとともに、管理職である職員給与につきましても管理職手当を10%カットすることとしました。今後は、これまで聖域とされてきた部分にまで踏み込んで、思い切った改革を断行していく所存です。

平成20年度 一般会計当初予算の構成

| 歳入総額 | | |
|-----------|------------|-------|
| 項目 | 予算額 | 構成比% |
| 地方交付税 | 12,200,000 | 47.0 |
| 市税 | 3,494,401 | 13.5 |
| 市債 | 2,522,500 | 9.7 |
| 県支出金 | 2,526,279 | 9.7 |
| 国庫支出金 | 2,108,326 | 8.1 |
| 繰入金 | 776,369 | 3.0 |
| 使用料および手数料 | 579,438 | 2.2 |
| 地方消費税交付金 | 430,000 | 1.7 |
| 地方譲与税 | 350,000 | 1.4 |
| その他 | 967,721 | 3.7 |
| 合計 | 25,955,034 | 100.0 |

| 歳出総額 | | |
|-------|------------|-------|
| 項目 | 予算額 | 構成比% |
| 総務費 | 3,362,922 | 13.0 |
| 民生費 | 7,643,790 | 29.5 |
| 衛生費 | 2,459,834 | 9.5 |
| 農林水産費 | 2,205,087 | 8.5 |
| 商工費 | 158,523 | 0.6 |
| 土木費 | 1,786,417 | 6.9 |
| 消防費 | 1,128,051 | 4.3 |
| 教育費 | 2,188,180 | 8.4 |
| 公債費 | 4,722,326 | 18.2 |
| その他 | 299,904 | 1.1 |
| 合計 | 25,955,034 | 100.0 |

- ▼一般会計
予算総額は、259億5503万4千円
(前年度比2.6%増)
- ▼特別会計
○国民健康保険事業特別会計
83億8868万7千円
(1.5%減)
○老人保健事業特別会計
9億5594万8千円
(87.7%減)
○簡易水道事業特別会計
15億2379万6千円
(18.9%減)
○下水道事業特別会計
11億2882万2千円
(75.6%増)
○水道事業会計
3億1850万6千円
(41.2%増)

- 後期高齢者医療特別会計
6億3324万4千円(皆増)
- ▼20年度事業概要
①ごみ減量化と地球温暖化防止プロジェクト(3件)
24,402千円
②世界遺産を目指した時空のプロジェクト(8件)
1億09,181千円
③元気がでる地域活力創生プロジェクト(7件)
37,296千円
④強い農業・水産業プロジェクト(18件)
9億90,346千円
⑤ひまわりプラン推進プロジェクト(35件)
20億38,287千円
⑥まちを支える人づくりと学校環境整備プロジェクト(10件)

- ⑦市民を守るプロジェクト(6件) 3億91,471千円
 - ⑧人・水・自然と調和したまちづくりプロジェクト(1件) 7,256千円
 - ⑨交通体系整備プロジェクト(2件) 26,354千円
 - ⑩地域力向上プロジェクト(12件) 1億48,912千円
- その他市の根幹となる事業(24件) 132億9,779千円
南島原市の予算は、市民の皆さまの福祉の向上のため、時代に即応した施策や安全対策、社会基盤の整備など、厳しい財政状況の中でも総合計画を推進するために様々な事業に取り組んでまいります。
市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

▼水資源の確保
水道施設は、整備後30年以上経過した老朽施設が多く、配水管の漏水や機器の故障等が頻発に発生し、施設の更新が必要時期となっております。「安心・安全」な水を安定的に供給するため、「南島原市水道事業総合計画」の作成を行います。
この計画に基づく事業の推進により、原水の確保に努め老朽化した水道施設の計画的な更新

人・水・自然と調和したまちづくりプロジェクト



「生」ごみ堆肥化事業「生」ごみ処理機器購入助成事業」に取り組みます。
さらに、使用済みの天ぷら油を使用したBDF車の活用を推進し、省エネルギー対策等は、産・学・官の共同による調査・研究の取り組みを進めます。

▼水環境の保全
植林や環境美化活動による地下水・天然水の品質保全と湧き水や水辺の保全・保護に努め、市民の皆さまや観光客が気軽に触れることができるような環境保全対策と、農村の住環境に配慮し、水と自然環境が調和した地域づくりの施策として「農地・水・環境保全対策事業」に取り組みます。
また、地下水汚染につきましても、島原半島全体の共通課題として捉え、行政各局・機関



広域化等を図りながら、健全な経営基盤の構築を図ります。また、農業用水の安定供給については、水資源の有効活用と併せて、農業経営の体質強化と経営安定を図るため、ほ場整備と一体になった整備が必要です。引き続きかんがい排水施設整備に取り組みます。



と連携しながら効果的な対策を進め、安全な水質確保に努めます。

▼道路・河川・港湾の整備
日常生活を支える身近な生活道路の整備充実を図ります。内訳として、新規8路線、継続19路線を計画しております。
また、河川改修は1カ所、港湾改修等は2カ所の県営事業にかかる負担金を予定しております。

▼市民憲章
総合計画が動き出す20年度に併せて「市民憲章検討委員会」を立ち上げ、素案を作成しました。現在は、市民意見募集を実施して、市民の皆さまのご意見をいただいているところであります。その意見を踏まえ検討委員会を開催し、市民憲章を制定します。

▼ふるさと納税制度
この制度の取り組みにしましては、20年4月1日施行されることを想定し、「南島原市ふるさと応援寄附条例」を第1回の定例議会に議案の上程をしました。
この制度により「ふるさとを大切にしたい」「ふるさとの発展に貢献したい」と、ふるさとを思う南島原市出身の方々の寄附によるまちづくりを進めます。

▼島原鉄道南線の廃止問題対策
島原鉄道自治体連絡協議会の路線廃止問題対策会議の中で、他の沿線自治体や国、県、また島原鉄道株式会社や高校ほか関係団体も交えて協議を進めた結果、1月23日の第4回会議において、最終の運行計画案が承認され、4月以降の代替バス運行について決定されました。
第6回南島原市島原鉄道廃止問題対策本部会議において、代替バス運行計画は、本市および関係高校の意見を十分に反映したものであり、鉄道南線廃止後の市民の皆さまの生活交通に関して、支障なく十分に確保できるものと判断しました。